

# 島の仕事ビジネスプラン

定住・雇用・産業おこしに向け

～トカラの地域資源を住民との知恵出し作戦で仕事ビジネスに活かす～



IU ターン者の取り組み



2013年3月

十島村

NPO法人トカラ・インターフェイス

## はじめに

トカラ列島・十島村にとって大きな課題は、七つの島が将来にわたって持続可能性をもって発展していくために、若者の呼び込み作戦を通じて交流人口を増加し、子供を産み育てる人材をいかに確保育成し定住にむすびつけていくかであります。

そのために村ではIUターン者の定住対策を施策振興の第一に取り上げて、プロジェクトチームを村と各島に発足させ、住民と行政、NPO三者の協働活動を通じて定住促進を図っており、その定住指標の一つになる「トカラ島の仕事ビジネスプラン」を県のIUターン者定住対策調査・サポート事業を村の委託を受けてつくりあげました。

これまでの島の暮らしと経済を支えていた公共事業の仕事もなくなった今日、島の持てる独特の地域資源を活かした自立発展の道を探り、自立的生活設計を立て、いかにトカラ独特の豊かさで安心安定の生活自立を打ち立てるかであります。

その道しるべとなるものがこの「島の仕事ビジネスプラン」であります。特にIUターン者等が島に移住し、何をどうして生活設計を立てて行くかそのメニューがない中で、ガイド案内・自立経営相談メニューとしてトカラの島々の実態の中からデータを収集分析して、プロジェクトチームで検討し作成しております。

そこでこの利用にあたっては、島の環境・農地の条件、四季の気象変化や防風対策等をよく検討し、それに個別の労力配分と取組む経営品目の基本的知識技術等を考えて、「島の仕事ビジネスプラン」で示した経営メニューを参考に、何と何を組み合わせるかを検討し取り組んでいただきたいと思います。

この「島の仕事ビジネスプラン」はIUターン者は勿論、既存住民の仕事づくりに大いに役立つと考えております。どうかひとつこのプランを活用いただき、新たなビジネス創出で島の定住・雇用・産業おこしにつなげていくようお願いしております。

最後にこの「島の仕事ビジネスプラン」作成にあたっては、地域住民の知恵と工夫、特に高齢者の貴重な伝統技術の情報等いただいたことと、村と各島のプロジェクトチームの支援協力に対し厚くお礼申し上げます。

### 【ビジネスプラン】

なお、出荷額等については、平均値や近年の市場の相場を利用して作成しておりますので、現在の市場とは差異が発生している場合がございますので、ご注意ください。

平成 25 年 3 月

NPO法人トカラ・インターフェイス  
代表 日高 重成

# 目次

はじめに

1．自然放牧・トカラ牛ブランドづくり ビジネス	3
2．トカラの個性的・伝統産物の再生 ビジネス	
サンセベリア、島らっきょう	4
島バナナ	5
タンカン・びわ	6
熱帯果樹	7
生姜	8
田芋、つわぶき	9
黒糖、長命草	10
3．トカラの海の幸・漁業 ビジネス	11
4．森・竹林の幸ビジネス	
椎茸・きくらげ・大名たけのこ	12
5．トカラの豊かな自然・伝統文化を活かす観光交流ビジネス	13
6．島の「コミュニティ」ビジネス	
島の便利屋仕事ビジネス、島の活性化交流ビジネス	14
トカラ・子育てビジネス	15
高齢者への福祉ビジネス、その他	16
7．島の仕事ビジネス、経営組合わせメニュー例	17

# 1. 自然放牧・トカラ牛ブランドづくり ビジネス

ビジネス課題	トカラ放牧牛のブランドづくり 黒潮海流ミネラル牧草で育てたトカラ牛	トカラ牛と <u>伝統野菜</u> を組み合わせた安定経営
検討、島仕事ビジネス	トカラ牛の自然放牧を強みにした肉用牛生産経営のビジネス	トカラ牛と伝統野菜の複合化で安定した経営展開ビジネス 「例 - 15 頭の中規模肉用牛と島らっきょう等組み合わせ」
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><u>有利性</u> 生産牛の飼育は自然放牧でされており、自然共生型の低コスト肉用牛生産が可能</p> <p><u>課題</u> ・粗飼料等の購入依存度が高く飼料の自給生産の取組が課題 ・繁殖子牛を導入して3年で金を生む長期戦での取組みの計画必要。</p> <p><u>前提条件</u> ・牛の頭数規模に対応した粗飼料生産 ・生産牛個体の繁殖管理と子牛の発育段階におけるエサと栄養管理の徹底</p>	<p><u>有利性</u> 多頭までは1人立ち出来ない和牛の宿命がある。牛を支える他の作物との複合で経営安定図る。</p> <p><u>課題</u> 複合補完作物の選定を労働力調整等で考え検討し決定する。</p> <p><u>前提条件</u> 複合作物を飼料作物生産との補完結合で牛も作物も発展完結する体系ですすめる。</p>
標準的モデル 収益性試算	<p><u>常時30頭規模(島モデル)</u></p> <p>(1)規模と生産性 生産牛規模 30 頭 子牛生産率 85% 子牛出荷頭数 25 頭</p> <p>(2)子牛販売総額 販売頭数 25 頭 平均価格 350,000 円 子牛販売総額 8,750,000 円 A</p> <p>(3):経営費用と収益性 子牛経営費(1頭) 225,000 円 内飼料費(出荷子牛) 110,000 円 牛経営総費用 5,625,000 円 B</p> <p>(4)収益性(A-B) = 3,125,000 円</p>	<p><u>複合化の島モデル例</u></p> <p>組み合わせ:牛と島らっきょう 規模:牛15頭とらっきょう20a 生産性:子牛生産市場12頭 らっきょう10a 840k×20a</p> <p>販売額と収益性 牛12頭×35万円=420万円 所得151万円 らっきょう20a=1,680k×800円 =135万×67% 90万+牛151万 計241万円</p>
実行実践 プログラム	<p>1、段階的頭数拡大計画と飼育プログラム作り 年次的牛の導入と資金計画 飼育計画並びに飼料作物の作付計画、牧野の放牧利用計画</p> <p>2、牛舎施設の整備利用計画 最初簡易の開放牛舎方式か島の共同牛舎利用かの検討</p> <p>3、母牛の生産性向上と子牛の商品性向上プログラム 母牛の繁殖カレンダー 子牛の育成カレンダー</p>	<p>1、島らっきょうほ場を夏の飼料生産で冬場飼料の利用作付計画と放牧利用体系化</p> <p>2、15頭数目標にむかって年次的に導入計画を資金計画と連動させて無理のない拡大計画をたてる。</p> <p>3、牛舎施設 当初は島の遊休牛舎活用検討</p>

## 2. トカラのサンセベリア、島らっきょうビジネス

ビジネス課題	環境クリーントカラ サンセベリア	トカラ伝統の島らっきょう トカラ潮風島らっきょう元気健康野菜
検討、島仕事ビジネス	サンセベリアの復活再生で安定した収益確保 「サンセベリアを育てた担い手の高齢隠退で消滅の危機にある」	「島らっきょう」のブランドづくり  「伝統の島らっきょうを荒廃砂丘地開発で再生しブランド化めざす」
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><b>有利性</b></p> <p>ブランド実績も出て収益性高く安定している。</p> <p>土地・気象的に適地で技術伝承良い</p> <p><b>課題</b></p> <p>年の気象変化によって病気の発生が多く大幅収穫減招く場合もある。きめ細かな管理の徹底が必要</p> <p><b>前提条件</b></p> <p>ハウス栽培と灌水が基本となる</p> <p>堆肥土作りで地力をつけた栽培</p>	<p><b>有利性</b></p> <p>島の伝統野菜の実績があり、また台風・潮風害も少なく安定栽培出来る</p> <p>販売流通も生食・加工向け共に安定した販売ネットがあり価格も安定。</p> <p>生産～加工商品～多様な販売ネットで島の6次産業化ビジネス展開可能</p> <p><b>課題</b></p> <p>収穫作業に労力がいる。</p> <p><b>前提条件</b></p> <p>堆肥土づくりで砂丘らっきょう</p> <p>本土先取り早期出荷と加工向け 栽培と販売で価格の安定をはかる</p>
標準的モデル 収益性試算	<p>現在宝島で進めている標準施設で試算（1.5aで試算）</p> <p>ハウス施設1棟規模</p> <p>150㎡（6m×25m）2年目</p> <p>栽植本数 720本 700本</p> <p>収穫本数 700本×2.5枚=1,750枚</p> <p>商品化率 1,750枚×95%=1,660枚</p> <p>売上収益 1,660本×200円=332,000円</p> <p>×所得率70% 232,000円</p> <p>10a当り 1,500,000円</p>	<p>10a規模で試算</p> <p>1、先取り早期出荷（1月上旬）</p> <p>収量と出荷商品化率</p> <p>930kg×90% 840kg</p> <p>売上粗収益</p> <p>840kg×800円=692,000円</p> <p>収益性（所得率67%）</p> <p>692,000円×67%=450,000円</p>
実行実践 プログラム	<p>1、ほ場準備・ほ場づくり</p> <p>牛堆肥及びボカシ有機堆肥づくりで土作り</p> <p>2、苗確保、苗作り</p> <p>3、ハウス施設づくり</p> <p>村の産業資金活用</p> <p>4、植え付け管理作業</p> <p>5、収穫出荷販売</p>	<p>1、砂丘地ほ場の土づくり</p> <p>早期出荷ほ場と加工用出荷用地の組み合わせ、前作落花生や飼料作物栽培で土づくり。</p> <p>牛堆肥とボカシ有機堆肥で土作り 8月まで終える段取り</p> <p>2、種子の準備 種子専用ほ場</p> <p>3、植え付け作業は9月中旬までに終える作業計画をたてる。</p> <p>4、管理作業暦年内2回追肥土寄せの徹底</p> <p>5、規格外の加工商品づくり</p>

## トカラの島バナナビジネス

ビジネス課題	<b>国内産最高人気のトカラ島バナナ</b> <b>甘味と酸のバランス最高のトカラ島バナナ</b>	
検討、島仕事ビジネス	トカラ島バナナの生果用と加工用を組み合わせたブランドづくり。 「生産者連携 6 次産業化ビジネスモデル」	島バナナ生産農家と連携した加工商品づくり 「生産と加工の連携協定でブランド化」
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><b>有利性</b> 国内唯一のバナナ産地として育って来ており、美味しさで高い評価を受けている。</p> <p><b>課題</b> 病気による品質低下防止と出荷不良品の加工商品化。</p> <p><b>前提条件</b> 南向き圃場選定と防風対策、加工商品作り生産者連携生果販売・加工向け・苗販売の組み合わせでバナナ・ビジネス拡大</p>	<p><b>有利性</b> 出荷不良バナナが付加価値高級商品に低コストで生まれ変わり、生産者と加工者の連携システムの構築になる。</p> <p><b>課題</b> 年間切れ目のないバナナの生産供給の生産体制づくり</p> <p><b>前提条件</b> 多様な販売ネットの確保と商品の供給体制づくり</p>
標準的モデル 収益性試算	<p>10a 単位で試算 三尺バナナ</p> <p>生産収量 2,500kg 出荷率 75%</p> <p>出荷量 1.875kg 加工向 625kg</p> <p>売上粗収益 生果用 1.875kg × 350 円 = 656.000 円 × 所得率 65% = 426,000 円 + 加工用 625kg × 300 円 = 187,000 円</p> <p>収益性 613,000 円</p> <p>バナナ苗販売 250 本 × 1,000 円 = 250,000 円 所得率 70% 175,000 円</p> <p>収益計(果 + 加 + 苗) 788,000 円</p>	<p>独自商品と業務用の二本立て</p> <p>独自商品(年間 2,400 個生産) 500 円 × 2,400 個 = 1,200,000 円 1,200,000 × 所得率 35% = 420,000 円</p> <p>業務向け 1 次加工品 2,000 円/kg × 340kg = 680,000 円 680,000 円 × 所得率 70% = 476,000 円</p> <p>+ = 896,000 円</p>
実行実践 プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、生果販売・加工・苗販売の一体的作業販売工程表づくり</li> <li>2、バナナと島らっきょう・サンセベリア等を組み合わせた経営設計</li> <li>3、ほ場選定 南向きと防風対策</li> <li>4、防風と品質向上で平張り設置</li> <li>5、牛糞と魚かす入り有機堆肥づくりで有機バナナ生産めざす</li> <li>6、島バナナの周年出荷に対応した熟度と商品管理</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、付加価値の高い商品企画</li> <li>2、輸送コストの不利を克服する賞味期限の長い商品作り</li> <li>3、原材料確保の為に生産者連携と生産規模の拡大</li> <li>4、多様な販売ネットの確立</li> </ol>

## トカラのタンカン、びわビジネス

ビジネス課題	コクのあるうま味トカラタンカン	濃厚な甘さトカラ露地びわで売出し
検討、島仕事ビジネス	島の気象条件を生かしたタンカン栽培	トカラびわの農園再生で体験交流型のピワ農園づくり
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><u>有利性</u> 島の土地と気象条件が栽培に適しており、高品質果実生産可能</p> <p><u>課題</u> そうか病とヤガの発生で商品性の低下、その解決策の検討実施</p> <p><u>前提条件</u> 平張りの施設栽培が条件になる。多様な販売ネット</p>	<p><u>有利性</u> トカラびわは露地ピワとして市場認知度も高い、美味しさ一番</p> <p><u>課題</u> 灰斑病の発生で商品性の低下が見られる。</p> <p><u>前提条件</u> ・多様な販売ネットで単価の引き上げ ・選果の徹底と品質の向上、病害予防の管理</p>
標準的モデル 収益性試算	<p>10a 単位で試算</p> <p>生産収量 2,000kg 出荷率 85%</p> <p>出荷量 1,800kg</p> <p>売上粗収益 1,800 kg × 380 円 = 684,000 円 × 所得率 65%</p> <p>収益性 445,000 円</p>	<p>10a 規模で試算</p> <p>青果出荷 3月下旬～5月上旬 収量と商品化率 600 kg × 80% = 480 kg</p> <p>売上 480 kg × 1,500 円 = 720,000 円</p> <p>収益性 (所得率 65%) 720,000 円 × 65% = 468,000 円</p>
実行実践 プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほ場選定：南向きで風当たり少ない場所の選定。</li> <li>平張り施設の設置 村の産業資金や事業化利用</li> <li>灌水施設と土づくり</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>廃作農園化しつつあるピワ園の再点検調査</li> <li>農園再生に向けての農園主との連携協定と合意形成</li> <li>本園ピワ栽培管理ごよみを指導員の指導を受けて徹底した高品質ピワ生産</li> <li>多様な販売ネットのシステムづくり。</li> </ol>

# トカラの熱帯果樹生パッションフルーツ、アボカドビジネス

ビジネス課題	トカラの特性を生かす熱帯果樹ビジネス トカラトロピカルフルーツの里づくり	
検討、島仕事ビジネス	パッションフルーツの無加温雨除け栽培で 高品質フルーツづくり	トカラ有望熱帯果樹の栽培 (アボカド)
有利性と課題 取組みの前提 条件	<p><b>有利性</b> トカラの潮風を受けたパッションフルーツは糖度と酸味がマッチし、ビタミンA・Cが豊富で若者から高齢者まで需要が安定している。</p> <p><b>課題</b> 開花時に雨に合うと病気発生で品質の低下につながる。</p> <p><b>前提条件</b> トカラでは露地栽培でも加工用はできるが、高品質果実生産をねらい雨除けハウス栽培をすすめる。併せて多様な販売ネット確保</p>	<p><b>有利性</b> ・島の土地・温暖な環境条件を生かして、有望と考えられる ・栽培は比較的容易で、鳥獣の被害を受けにくい ・露地栽培で可能</p> <p><b>課題</b> 強風で倒伏・枝折れし易いので低樹仕立て栽培や防風対策を十分にする。 灌水、きめ細やかな生産管理</p> <p><b>前提条件</b> ・導入果樹に対する知識・技術の習得 ・露地栽培での施設化(平張り)</p>
標準的モデル 収益性試算	<p>標準的収益性 10a 当り</p> <p>作式と本数 2m × 5m = 100 株</p> <p>1 株収穫 280 個 × 70g = 19kg</p> <p>10a 収穫個数と収量 100 株 × 280 個 = 28,000 個 × 90% = 25,200 個</p> <p>販売額 25,200 × 60 円 = 1,512,000 円 × 所得率 58% 収益性 876,000 円</p>	<p>標準的収益性 10a 当り</p> <p>果樹名 アボカド</p> <p>収量 960kg</p> <p>販売額 850 円 × 960kg = 816,000 円</p> <p>収益性 (所得率 60%) 490,000 円</p>
実行実践 プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、苗木づくり さし木で増殖 3月から6月に腐葉土にさす。</li> <li>2、定植のやり方 苗木が30~40cmに伸びた苗を植え穴幅40cm 深さ30cmに植える。</li> <li>3、管理整枝 T文字整枝、高さ1.5mで新梢2本を右左に伸ばす</li> <li>4、収穫 果実の完熟に要する期間は温度条件で変わるが、開花受粉後、夏55日、秋70日、冬85日である。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、栽培果樹の栽培こよみ 苗木 苗を購入する 定植のやり方、栽植密度 5m × 3m で 10a 67本 栽培管理、品質向上 幼果に対するカメムシ防止 着果過多の場合は隔年結果する場合もあるので連年結果対策必要 収穫と商品管理</li> <li>2、3年目で果実をつけるので追熟して販売する</li> </ol>



## トカラの生姜ビジネス

ビジネス課題	トカラ生姜ミネラル満載で多様なビジネス拡大
検討、島仕事ビジネス	トカラ生姜で生産 - 加工商品 - 多様な販売 6次産業化ビジネス
有利性と課題 取組みの前提 条件	<p><u>有利性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売流通も他産地との連携した販売ネットがあり価格も安定。</li> <li>・他産地が根茎腐敗病などで収穫量が下がってきており、ニーズが高い</li> </ul> <p><u>課題</u></p> <p>倒伏防止ネット等倒伏対策 連作を避けるため、圃場確保 種用では 13~15 での貯蔵管理</p> <p><u>前提条件</u></p> <p>灌水に十分対応できるほ場選定と病虫害、特に根茎腐敗病の発生の少ないほ場を選ぶで安定栽培</p>
標準的モデル 収益性試算	<p>標準的収益性 10 a 当り</p> <p>1、青果出荷（11月上旬）</p> <p style="padding-left: 20px;">収量と出荷商品化率 3,000kg × 90% 2,700kg</p> <p style="padding-left: 20px;">売上粗収益 2,700kg × 200 円 = 540,000 円</p> <p style="padding-left: 20px;">親 250 k × 100 円 = 25,000 円</p> <p style="padding-left: 20px;">収益性（所得率 55%） 565,000 円 × 55% = 310,750 円</p> <p>2、種姜種での出荷（2月中旬）</p> <p style="padding-left: 20px;">収量 10 a 3,000kg</p> <p style="padding-left: 20px;">収益性 3,000kg × 280 円 = 840,000 円 × 55% = 462,000 円</p>
実行実践 プログラム	<p>1、ほ場の土づくり 牛堆肥とボカシ有機堆肥で土作り。十分な施肥を行う。2月までに終える段取り</p> <p>2、種子の準備 病気を避けるため無病種の購入を行う</p> <p>3、植え付け作業は4月上旬までに終える作業計画をたてる。</p> <p>4、管理作業 追肥、土寄せ。乾燥防止の敷き わらや灌水も重要 収穫と商品管理 販売戦略</p>

## トカラの伝統産物の田芋、つわぶきビジネス

<p>ビジネス課題</p>	<p>トカラの伝統野菜田芋ビジネス 田芋の北限 トカラ田芋便りーモチモチ食感最高の味</p>	<p>トカラ つわぶき 香り柔らかさ本土物と違う伝統の味</p>
<p>検討、島仕事ビジネス</p>	<p>トカラ伝統の田芋栽培で安定収入 「田芋の里づくりとセットして取り組む」</p>	<p>トカラ天然つわぶきの早出し栽培で安定収入</p>
<p>有利性と課題 取組みの前提条件</p>	<p><u>有利性</u> 島の伝統野菜として昔から定着しており、祝い行事用や健康食材として需要があり、価格も安定している。</p> <p><u>課題</u> 高齢化に伴う面積の減少と計画生産</p> <p><u>前提条件</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷水の流れのよい水田圃場選定</li> <li>・田芋の販売先のネットワークづくり</li> </ul>	<p><u>有利性</u> トカラつわぶきは本土物とは違って柔らかく香りよく、本土物より先取り販売が可能で評価高い</p> <p><u>課題</u> むきつわ出荷で多くの労力を要するため、皮むきの省力化をはかる必要がある。</p> <p><u>前提条件</u> 日陰条件の圃場選定と夏場の乾燥防止のため、しきわら対策を考えて収量の安定化を図る</p>
<p>標準的モデル 収益性試算</p>	<p>島実証調査 10 a 換算試算 島標準作型 2 年型 作式 40cm × 30cm = 8.300 株 収量 8.000 株 × 0.5kg = 4 t 出荷率 4 t × 80% 3.2 t 販売額 3.2 t × 400 円 = 128 万円 × 所得率 65% 粗収益 = 832,000 円</p>	<p>島実証調査 10 a 換算試算 株数(10a) 4,000 株 収量一株 むき 450 g 収量 3,600 株 × 450g = 1,620 kg 出荷量 商品化率 90% = 1,458 k 販売額 1,458 k × 450 円 = 656,000 円 × 所得率 65% 収益 = 426,000 円</p>
<p>実行実践 プログラム</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、2 年作型の組み合わせで安定した収益の作付計画</li> <li>2、田芋の水田圃場づくりと流水管理</li> <li>3、田芋の栽培こよみを参考に独自の圃場に対応した栽培管理プログラム</li> <li>4、田芋販売の顧客管理とオーナー制を取り入れた販路拡大のネットワークづくり</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、自然のつわぶき山菜取りから計画栽培体系への変換プログラム化</li> <li>2、計画栽培こよみによる管理</li> <li>3、1 月中旬からの早だしにむけた出荷計画と販路拡大ネットワークづくり。</li> </ol>

## トカラの伝統産物黒糖、長命草ビジネス

ビジネス課題	伝統の黒糖生産、復活作戦ビジネス	宝島薬草のビジネス
検討、島仕事ビジネス	宝島黒糖「伝統の味」 復活生産で多様な商品づくり	宝島長命草ビジネス ・健康商品・化粧品の原料、多様な商品づくりでビジネス展開 ・企業との連携協定で半製品づくりビジネス
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><u>有利性</u> 宝島黒糖は歴史があり独特の伝統の味で評価が高い。</p> <p><u>課題</u> 現在ミニ製糖工場が2軒あるが改修新設が必要。</p> <p><u>前提条件</u> 黒糖工場の改修または新設と黒糖専用のサトウキビ生産拡大、燃料は薪、廃材、流木等の利用</p>	<p><u>有利性</u> 島での生産加工した実績があり、データもある。また、島の海岸一帯には自然自生で、島の環境に適合している。 宝島砂丘地は苦土石灰不要で有利</p> <p><u>課題</u> 量産体制が出来ていなくいかに需要に応じた生産体制をつくるかが重要になる。</p> <p><u>前提条件</u> 宝島砂丘地の割合、土砂混合率の高い圃場での計画生産と有機質堆肥等の活用・肥培管理</p>
標準的モデル 収益性試算	<p>10a単位で試算</p> <p>原料生産 7,000k を目標</p> <p>黒糖生産 700k 原料の1割</p> <p>売上粗収益 700k × 1,100 = 770,000円 × 所得率 68%</p> <p>収益性 = 523,000円</p> <p>多様な販売戦略で付加価値商品アップ 1.3倍目指す</p>	<p>10a単位で試算(宝島実績参考)</p> <p>生産量 栽植本数 4160本</p> <p>正常本数 3,500本 × 生葉 250g = 875kg 乾燥粉末化歩留 20% = 175kg</p> <p>・1株5本分かつ 4本収穫 年5回収穫 1株 250kg 1/5</p> <p>製品歩留 175kg × 90% = 157kg</p> <p>粗収益 157kg × 8,000円 = 1,256,000円</p> <p>収益性 1,256,000円 × 所得 75% = 942,000円</p>
実行実践 プログラム	<p>島の自然との共生循環型の黒糖生産で宝島の独自性を持つ商品</p> <p>づくりと販売の戦略プログラム</p> <p>原料生産の圃場づくり</p> <p>既存工場の効率運営～順次製糖工場の改修建設の段取り計画</p> <p>共同運営と共同作業のプログラム</p>	<p>1、原料生産管理プログラム</p> <p>栽培地の確保</p> <p>荒廃した砂丘地の防風帯を考えた農地の開発</p> <p>苦土石灰不要、海水散水不要</p> <p>土づくり、堆肥鶏糞施用</p> <p>育苗 野生苗を利用</p> <p>手作りかん水施設の検討</p> <p>除草と栽培管理の徹底</p> <p>2、製品化作業工程プログラム</p> <p>生葉 1/5 製品化 乾燥機利用</p> <p>生葉の前処理 生葉を切り取り水洗い</p> <p>ハウス予備乾燥 乾燥機 粉引き機(4-5万) 1時間で2k粉末商品化する。</p>

### 3、トカラの海の幸・漁業ビジネス

<p>ビジネス課題</p>	<p>漁業資源 豊富な海資源トカラ沿岸漁業の取り組み</p>	<p>トカラ漁業と販売流通ビジネス 漁業と観光ビジネスのマッチング</p>
<p>検討、島仕事ビジネス</p>	<p>トローリング、底釣り、定置網、漁法を組み合わせたトカラ漁業ビジネス  「冬場の出漁出来ない時期に魚の加工商品づくり組み合わせ」</p>	<p>急速冷凍の活用 施設利用のトカラ新鮮魚の流通ビジネス  漁業者の観光を組み合わせたビジネス展開</p>
<p>有利性と課題 取組みの前提条件</p>	<p><b>有利性</b> トカラの海資源は金になる木が多い。生活が成り立つ設計ができる  <b>課題</b> 初期投資、船 500 万、漁具 100 万、運転資金 100 万 計 700 万円最低必要 村の産業資金を借りる方法もある。  <b>前提条件</b> 最初からビジネス感覚と資金計画をしっかりと持ち、トカラの海・潮流、漁場の周知の為、一年間・島の漁業者（インストラクター）に弟子入り</p>	<p><b>1、鮮魚販売流通ビジネス</b> <b>課題</b> 新鮮魚流通の企業連携で安定した販売の体系化  <b>2、観光ビジネス</b> <b>有利性</b> 各島釣り場多く、釣りファンが多い。 <b>課題</b> 船の施設 <b>前提条件</b> 遊魚船資格</p>
<p>標準的モデル 収益性試算</p>	<p>1、船の整備 3~4 t 2、漁法ごとの試算 トローリング（ホ口引き） カツオ、サワラ、まぐろ 黒潮の流れの変化対応 底釣り 高級魚狙い カンパチ、たい、アラ、 定置網 雑魚 ブダイ、ツノマル、黒ダイ シイラ、はち、こーめ 3、売上 500 万 直接費（燃料代等）100 万 粗収益 350 万円</p>	<p>新鮮魚の流通でトカラ鮮魚の高付加価値販売         時間当たりの収益性</p>
<p>実行実践 プログラム</p>	<p>1、トカラ海・潮流・季節シーズンの漁場の環境をカレンダー化し熟知する。 漁協組合加入 2、インストラクタ 漁業者と漁法ごとの操業計画、漁船の整備計画をたてる。 隠退漁業者の船譲り受け検討 3、資金計画と行政・漁協相談 4、冬場の商品作り、燻製等 5、販売流通のネットワーク化と拡大 6、釣り客とのネットークづくり</p>	

#### 4. 森・竹林の幸・ビジネス「椎茸・きくらげ」「大名たけのこ・竹利用商品」

ビジネス課題	トカラ森の資源ビジネス	トカラ竹林資源をビジネス ・竹林産物 ・竹の利用ビジネス
検討、島仕事ビジネス	島の森の恵みを生かす椎茸やキクラゲ栽培	竹林の恵み・トカラ大名たけのこの生産出荷と商品作りビジネス
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><b>有利性</b> 島の森には椎木をはじめ原木になるほど木が多くあり、また肉厚の椎茸生産ができる。</p> <p><b>課題</b> ほだ木の確保・調達と労働力</p> <p><b>前提条件</b> しいたけ栽培経営は乾しいたけと生しいたけ生産経営があるが、トカラでは乾・露地生しいたけ栽培をすすめる。</p>	<p><b>有利性</b> 日本一早い出荷と柔らかく香りよい面で市場性高い。また潮風筍自然で売り込み。</p> <p><b>課題</b> 4, 5月の本土出荷前の早出し栽培の取組みと販路拡大</p> <p><b>前提条件</b> 品質管理を徹底した冷蔵出荷。 共同作業対応</p> <p><b>加工商品づくり</b> 水煮、キムチ漬け</p>
標準的モデル 収益性試算	<p><u>県標準モデル</u></p> <p>1、規模 年 3,000 本 種こま 1 本 20 個</p> <p>2、3 年次生産量と販売額</p> <p>生産量 乾 150kg 生 700kg 販売額 945,000 円</p> <p>・乾 150kg × 3500 円 = 525,000 ・生 700kg × 600 円 = 420,000</p> <p>収益性 945,000 円 × 所得率 45% =425,000 円</p>	<p>1、出荷時期と価格 (kg)</p> <p>4月 800 円 ~ 1,000 円 5月 700 円前後 6月 600 円 6月中旬 500 円</p> <p>2、出荷個人の最高実績</p> <p>・諏訪之瀬島 70 万台 ・悪石島 60 万台</p> <p>3、加工商品</p> <p>・竹の子の水煮 ・キムチ漬け</p>
実行実践 プログラム	<p>1、生産計画</p> <p>11、12 月は露地生シイタケ 1 月以降は乾シイタケ</p> <p>2、ほだ木の管理</p> <p>3、品質管理及び販売ネット</p>	<p>1、竹林の「竹の子農園」管理的利用 各地区ごと「竹の子農園」管理暦作成 利用</p> <p>2、品質管理を徹底した出荷</p> <p>3、市場信頼（初荷イベント）で販路拡大</p> <p>4、多様な魅力商品で販売作戦。</p>

## 5、トカラの観光交流ビジネス

<p>ビジネス課題</p>	<p>地域資源観光ビジネス活用作戦 島まるごと自然博物館で観光ビジネスアピール</p>	<p>トカラ型体験交流グリーンツーリズム創出ビジネス</p>
<p>検討、島仕事ビジネス</p>	<p>島の魅力的な観光資源と農林水産業を融合させた体験交流型観光ビジネス</p>	<p>島の自然と文化、食農を融合したグリーンツーリズムビジネス</p>
<p>有利性と課題 取組みの前提条件</p>	<p><u>有利性</u> 島独特な魅力資源、自然資源・温泉・伝統文化等の個性的観光資源がある。</p> <p><u>課題</u> 島まるごと自然博物館的なハード、ソフト面の整備の遅れ</p> <p><u>前提条件</u> 観光業者との連携とガイド案内仕組みづくり、交流人口呼び込み、広報宣伝、民宿連携</p>	<p><u>有利性</u> 自然癒し、温泉、伝統農法、水産業、サンゴリーフと潮騒等始め環境学習素材は豊富</p> <p><u>課題</u> 人の呼び込み作戦とグリーン・ブルーツーリズムの組み合わせ体制づくり</p> <p><u>前提条件</u> トカラ型グリーンツーリズムの戦略体制づくり</p>
<p>標準的ガイドの仕組みづくりと料金</p>	<p>1、ガイド案内システム ガイド案内役メンバーの確保 ガイドコースのメニュー ガイド料金 (時間当たり、午前・午後当たり)</p> <p>2、ゲストハウスのシステム 民宿との合意で実施展開 料金設定 利用者層別</p>	<p>1、グリーンツーリズム 体験メニューのマニュアル 体験料金設定</p> <p>2、宿泊受け入れ体制 受け入れ体制の整備(島協会等) 受け入れ民家のリスト</p>
<p>実行実践プログラム</p>	<p>1、島の魅力資源PR 島独自戦略宣伝 手つかずの自然・独特の文化・豊かな人の繋がり・ゆっくり流れる時間といった都会では味わえない魅力アピール 村との一体的取組み作戦 マスコミでの多元利用</p> <p>2、島の農林水産業の体験交流型のプログラム 「交流プログラム・短期滞在型のプログラム」</p>	<p>1、グリーンツーリズムの島仕組みづくり</p> <p>2、山・里・海の資源を活用した体験交流メニュー</p> <p>3、島の伝統・文化、食・農を組み合わせた体験メニュー</p> <p>4、グリーンとブルーツーリズムの組み合わせ展開(海・天然リーフ・潮干狩り・釣り)</p>

## 6、島の集落「コミュニティ」ビジネス

ビジネス課題	島の便利屋仕事ビジネス	島の活性化交流ビジネス
検討、島仕事ビジネス	島の難でも屋業でビジネス拡大 「簡単な家屋修理、ミニ工事請負等」 得意分野 3 人で島会社	島民寄合・話合交流 「島民ショップ」で元気島ビジ 叔知恵出し
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><u>有利性</u> 高齢化で得意分野の人材不足で需要は高まっている。</p> <p><u>課題</u> 1 人で全て対応はきびしい得意分野 2、3 人で島会社</p> <p><u>前提条件</u> 島民は勿論、村役場と連携し村の小規模発注事業の受注</p>	<p><u>有利性</u> 日常島民が寄り話し合い、交流し、物を売り買いする所が宝島以外なく希望する声大きい</p> <p><u>課題</u> 手づくりの施設づくりから</p> <p><u>前提条件</u> 島の自治会との合意のもとに、仲間組織での検討</p>
標準的モデル 収益性試算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何でも業種別の利用金</li> <li>・独自利用料金の設定</li> </ul>	<p>直売所 自給野菜の分け合いと自給率向上・金を外に出さない機能</p> <p style="text-align: center;">100 円島市場</p> <p style="text-align: center;">島寄り合い販わいハウス プラットフォームへ展開させる</p>
実行実践 プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、島民のアンケート調査で実態を把握し、ビジネス構想たてる。</li> <li>2、島民会社の組織づくり 得意分野の 2,3 人で段階的発展</li> <li>3、村等の発注事業の年間スケジュール化で島ビジネス拡大</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、島民ショップの組織運営仕組みづくり</li> <li>2、直売所と土産品、カフェと寄合の一体化したショップの検討</li> </ol>

## (1) トカラ・子育てビジネス

ビジネス課題	トカラ・子育てビジネス	
検討、島仕事ビジネス	子育てを山海留学生と寄合共生させて子供の健全教育ビジネス 「イターン者子供の友達作戦」	子供「預り」ビジネス
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><u>有利性</u> 山海留学受け入でイターン者子供の一人子等解消、学校活気</p> <p><u>課題</u> 山海留学生受け入に対応した住宅条件整備確保</p> <p><u>前提条件</u> 住宅確保と子供の共同生活への理解納得</p>	<p><u>有利性</u> 子供預かり場の確保で母親の就労機会が与えられ、安心子育て</p> <p><u>課題</u> 里親的人材確保</p> <p><u>前提条件</u> 子供預りの安心環境</p>
標準的モデル 収益性試算	<p>1、十島村の山海留学の制度からの試算</p> <p>1人受け入れ月 8万円</p> <p>2人 16万円</p>	<p>1、時間当たりか一回当りの費用</p> <p>2、お互いの信頼関係のとりきめ</p>
実行実践 プログラム	<p>1、受け入れの仕組みを留学学生の親との合意と信頼関係づくり</p> <p>2、山海留学生と自分の子供との学習プログラム学校教師と検討</p>	<p>1、島での仕組みづくり 自治会での取り組み</p> <p>2、イターン者の定住対策とセットにした仕組みづくり</p>



## ( 2 ) 高齢者への福祉、その他ビジネス

ビジネス課題	高齢者への福祉ビジネス	その他 こんな事、あんな事、ビジネス探し検討
検討、島仕事ビジネス	島の高齢者介護ビジネス	村の発注事業の年間スケジュール化で島雇用創出ビジネス
有利性と課題 取組みの前提条件	<p><u>有利性</u> 独居老人や要介護の高齢者の増加に伴い今後需要が見込まれる。</p> <p><u>課題</u> 施設・仕組み</p> <p><u>前提条件</u> 介護サービスの支援資格等</p>	<p><u>有利性</u> 村発注の小規模工事等の年間均等な受注で雇用就業が生まれる。</p> <p><u>課題</u> 年間切れ目のない事業の役 場行政からの受注体制づくり</p> <p><u>前提条件</u> 3人寄れば文殊の知恵・得意分野の組織化と行政の支援体制</p>
標準的モデル 収益性試算	1、島でビジネスになる支援料金は	<p>島の予想される仕事 業種別の料金</p> <p>・一般工事 就業日数 × 8,000 円</p>
実行実践 プログラム	1、高齢者の介護支援に対してどんな支援が必要でそれにはどんなプログラムが必要かを聴き取り	<p>1、得意分野の人材で組織化の段取り 「最初は一人から段階的に組織化、島民会社へ発展」</p> <p>2、村が発注する事業の予測調査 自治会との連携</p> <p>3、自分達で仕事ビジネス創出 「住民のニーズ調査」</p>

## 7、島の仕事ビジネス、経営組合せメニュー例

～島の環境気象・農地圃場条件と自分の適性・労働配分を考え、年間所得確保の組合わせ検討～  
【経営の組合わせメニュー】

### 1.自然放牧・トカラ牛ブランドづくりビジネス

#### (1)肉用牛子牛生産專業経営ビジネス

肉用牛 50 頭の子牛生産経営

【前提条件 牧野面積の十分確保】

段階的頭数の規模拡大

・標準的島モデル試算

生産牛 50 頭 子牛販売頭数 43 頭

収益 560 万円

肉用牛 30 頭の子牛生産経営

【前提条件 牧野面積の確保と租飼料生産】

段階的頭数の規模拡大

・標準的島モデル試算

生産牛 30 頭 子牛販売頭数 25 頭

収益 312 万円

#### (2)肉用牛と島の伝統野菜との複合経営ビジネス

【前提条件 複合作物との完全結合】

肉用牛 15 頭の中規模子牛生産経営と島らっきょう等組合わせ + ビジネス

段階的頭数の規模拡大と島らっきょうの作付体系化、+ ビジネスの3本立て経営

・標準的島モデル試算

生産牛 15 頭 子牛販売頭数 12 頭

収益 151 万円

島らっきょう 20a 出荷量 1,700kg

収益 82 万円

+ ビジネス(田芋、つわぶき、果樹類、コミュニティビジネス)

収益 50 万円

合計 283 万円

### 2.サンセベリアと島らっきょうの複合で安定経営

【前提条件 畑地面積と労働力確保】

・標準的島モデル試算

サンセベリア ハウス 300 m<sup>2</sup> (6m×25m 2棟)

出荷量 3,400 本 収益 48 万円

島らっきょう 50a

出荷量 4.2t 収益 227 万円

+ ビジネス(田芋、つわぶき、果樹類、コミュニティビジネス)

収益 円

合計 275 万円+

### 3.タンカン等果樹類、伝統野菜&加工商品組合わせ

【前提条件 年間労力と季節商品結合】

・標準的島モデル試算

タンカン 10a 出荷量 1,800kg

収益 50 万円

田芋 10a 出荷量 3.2t

収益 83 万円

熱帯果樹 10a 出荷量 1,000kg

収益 51 万円

加工商品

収益 36 万円

+ ビジネス

収益 円

合計 220 万円+

## 4. 島らっきょう &amp; 生姜の作付体系組合わせ

【前提条件 畑地面積と労働力確保】

## ・標準的島モデル試算

島らっきょう	50a	出荷量	4.2t	収益	227万円
生姜	20a	出荷量	5.4t	収益	62万円
生姜加工商品				収益	21万円
				合計	310万円

## 5. 島バナナ生果 &amp; 加工原料用と島らっきょう組合わせ

【前提条件 圃場選定と防風対策】

## ・標準的島モデル試算

島バナナ	20a	出荷量 (青果)	3,750kg	収益	85万円
		出荷量 (加工原料用)	1,250kg	収益	38万円
		出荷量 (苗)	250本	収益	18万円
島らっきょう	30a	出荷量	2.5t	収益	130万円
+ ビジネス				収益	円
				合計	271万円+

## 6. トカラ自然の恵みを活かしたビジネス

【前提条件 自然採取型から管理栽培へ】

## ・標準的島モデル試算

つわぶき	20a	出荷量	3t	収益	88万円
大名たけのこ		出荷量	800kg	収益	45万円
島バナナ	20a	出荷量 (青果)	3,750kg	収益	85万円
		出荷量 (加工原料用)	1,250kg	収益	38万円
				収益	円
				合計	256万円+

## 7. フルーツの里づくり加工商品ビジネス

【前提条件 年間労力と規格外品の加工】

## ・標準的島モデル試算

タンカン	10a	出荷量	1,800kg	収益	50万円
パッションフルーツ	10a	出荷量	2.3t	収益	88万円
熱帯果樹	10a	出荷量	1,000kg	収益	51万円
商品加工(独自商品)		製造量	2,400個	収益	42万円
(1次加工)		製造量	350kg	収益	49万円
				合計	280万円

